

福

伝える

社

みえ

つなげる

え

No. 400

12月号  
2024年

ひびきあう



今月の表紙写真は、昨年三重県社会福祉協議会の職員が訪れた「なばなの里 光に咲く庭と緑のトンネル」の様子です。昨年と少し変わり、今年もさらに美しい景色が楽しめるようですよ！ぜひ足を運んでみてくださいね。



テーマは  
**「旅行先の景色や思い出」**  
三重県内の風景や美味しいもの、  
おすすめスポットなどを  
ぜひ、おすそ分けください！

写真の投稿はこちらから >>>

あなたの写真が世界への冒険を共有し、  
福祉の魅力を広める一役を担うかもしれません！

## contents

- 特集：令和6年度 三重県社会福祉大会 …………… 2
- 連載：新ウェルビーイングみえプラン …………… 6
- 三重県共同募金会からのお知らせ …………… 8

福祉みえでは特集記事に uni-voice による音声コードを導入しておりますが、今月号におきましては収録字数の関係上、音声コードの導入を見送らせていただいております。

ふれあいネットワーク

特集

# 令和6年度 三重県社会福祉大会

去る令和6年10月29日(火)、三重県総合文化センターにて三重県社会福祉に貢献された方々の顕彰と社会福祉の更なる発展を期して、三重県社会福祉大会(第72回)を開催いたしましたので、そのときの内容をお届けします。

## 三重県社会福祉協議会会長表彰・感謝

### 民生委員・児童委員功労者

民生委員・児童委員の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
桑名市	直江 和美	四日市市	内田 かをり	伊勢市	松本 百合子	志摩市	天白 紀子
桑名市	荒木 敏文	四日市市	田中 みち子	伊勢市	中北 透	伊賀市	馬場 真里
桑名市	山崎 尚美	鈴鹿市	山本 直美	伊勢市	右京 奈美子	伊賀市	福中 俊子
四日市市	鈴木 久代	鈴鹿市	藤井 さゆり	伊勢市	森 美江	尾鷲市	高山 勝幸
四日市市	稲垣 裕子	津市	南出 正成	伊勢市	小林 えり子	紀北町	世古 美保
四日市市	藤井 久美子	松阪市	梶原 美智子	伊勢市	鴻原 美佐子	熊野市	土口 鈴子
四日市市	塚本 和泉	伊勢市	辻 紀美子	伊勢市	大西 芳子		

(注) 民生委員・児童委員功労者 29名のうち、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

### 社会福祉法人・福祉施設功労者

社会福祉施設の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	前川 カズエ	社会福祉法人ユートピア	松阪市	中村 美保	若葉保育園
四日市市	林 嘉余子	特別養護老人ホームアリーブオ	伊勢市	吉田 仁美	あかつき
四日市市	黒島 秀英	介護老人福祉施設みのりの里	伊勢市	前田 真希	すばる
四日市市	真昌 淳典	水沢こども園	伊勢市	白井 千春	ふらっと
四日市市	林 秀典	河原田保育園	伊賀市	喜多田 道代	三田保育園
四日市市	伊藤 聖浩	愛育こども園	伊賀市	竹原 美樹	曙保育園
鈴鹿市	大谷 仁志	しらすぎ園	伊賀市	井口 恵美	在宅複合型施設グリーンピア名張
鈴鹿市	町野 孝輔	しらすぎ園	伊賀市	山本 智美	在宅複合型施設グリーンピア名張
亀山市	尾矢 登世子	特別養護老人ホーム安全の里	伊賀市	廣嶋 洋子	在宅複合型施設グリーンピア名張
津市	川合 牧子	みどり自由学園	伊賀市	木津 季容子	ケアハウスグリーンピア名張
津市	中谷 仁美	長谷山寮	伊賀市	松井 仁美	特別養護老人ホームグリーンピア名張
津市	池上 綾	長谷山荘	伊賀市	宮内 晴美	在宅複合型施設グリーンピア名張
津市	中谷 公亮	長谷山荘	伊賀市	三原 好恵	在宅複合型施設グリーンピア名張
津市	玉置 里司	三重保育院乳児保育所	伊賀市	岡田 やよい	ケアハウスおおぞら デイサービスセンターおおぞら
津市	鈴木 英里子	特別養護老人ホーム報徳園	伊賀市	山口 容子	グループホームグリーンピア名張
津市	山中 綾美	特別養護老人ホーム報徳園	伊賀市	大中原 美佐子	居宅介護支援センターおおぞら
津市	舟木 和恵	長谷山寮	名張市	日置 君代	名張市立発達支援センター
津市	山中 有香	長谷山寮	名張市	福島 進也	伊賀地域生活支援拠点オルハナ
津市	草川 充	児童養護施設なないろ	名張市	山田 幸輝	成美
津市	福井 一実	はくさん作業所	名張市	垣内 明日香	成峯
津市	中島 亜希子	乳児院ましろ	名張市	福森 祐也	こどもライフサポートセンターはーと
津市	高倉 陽子	聖マッテヤ心豊苑	名張市	風早 洋子	ホームヘルプサービス ゆーゆ
津市	山本 敦子	聖マッテヤ心豊苑	名張市	野原 珠美	名張特別養護老人ホーム
津市	佐野 直子	聖マッテヤ心豊苑	尾鷲市	山城 福保	矢浜保育園
松阪市	森本 由紀	松阪市立花岡保育園	尾鷲市	弓場 佳緒	矢浜保育園
松阪市	吉田 恭子	松阪市立飯南たんぽぽこども園			
松阪市	刀根 由紀子	若葉保育園			

(注) 社会福祉法人・福祉施設功労者 55名のうち、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

### 社会福祉協議会・民間団体功労者

社会福祉団体の現職において、多年にわたり、社会福祉の増進に貢献し、その功績が顕著な方

市町名	氏名	所属先	市町名	氏名	所属先
四日市市	田中 恵子	四日市市社会福祉協議会	伊勢市	藤原 真人	伊勢市社会福祉協議会
四日市市	佐伯 宏幸	四日市市社会福祉協議会	伊勢市	野中 秀行	伊勢市社会福祉協議会
四日市市	羽木 真由美	四日市市社会福祉協議会	南伊勢町	上村 由佳里	南伊勢町社会福祉協議会
四日市市	堀内 里実	四日市市社会福祉協議会	伊賀市	橋本 美智子	伊賀市社会福祉協議会
四日市市	北畠 未央	四日市市社会福祉協議会	伊賀市	福村 亜津美	伊賀市社会福祉協議会
四日市市	渥美 理佳子	四日市市社会福祉協議会	伊賀市	中森 江美	伊賀市社会福祉協議会
鈴鹿市	廣田 祥基	鈴鹿市社会福祉協議会	尾鷲市	上村 紀美男	尾鷲市社会福祉協議会
亀山市	加藤 淑子	亀山市母子寡婦福祉会	紀北町	折戸 千秋	紀北町社会福祉協議会
津市	藤井 今佐美	津市母子父子寡婦福祉会(久居支部)			

(注) 社会福祉協議会・民間団体功労者 20名のうち、氏名の掲載についてご同意いただいた方のみ掲載しています。

## 三重県共同募金会会長表彰・感謝

### 共同募金運動奉仕功労者 共同募金運動の推進に貢献し、その功績が特に顕著な奉仕者

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
桑名市	仲井 靖雄	伊賀市	平田 久二	菰野町	三崎 善満
鈴鹿市	荻野 晃	伊賀市	松井 謙二	紀北町	西田 勝美
鈴鹿市	水野 克則	東員町	石崎 恵美		
名張市	古谷 久人	菰野町	前田 宏郎		

### 共同募金運動優良地区・団体 共同募金運動が特に優秀な地区及び団体

市町名	地区/団体名	市町名	地区/団体名	市町名	地区/団体名
津市	相川町自治会	名張市	神屋区	伊賀市	中矢区
津市	香良洲町小松地区自治会	名張市	蔵持町芝出自治会	伊賀市	緑ヶ丘南ニュータウン区
津市	豊が丘第二自治会	名張市	奈垣区	菰野町	松涛園区
津市	藤方中自治会	名張市	長瀬区	多気町	東池上
津市	米津自治会	名張市	東町区	多気町	牧
伊勢市	旭町自治会	志摩市	栗木広区	南伊勢町	小方竈区
伊勢市	佐八町自治会	志摩市	南張地区会	南伊勢町	木谷区
伊勢市	千寿台自治会	志摩市	和具自治会	南伊勢町	新桑竈区
伊勢市	西豊浜町小川区自治会	伊賀市	上野中町自治会	南伊勢町	斎田区
名張市	赤坂区	伊賀市	奥鹿野区	南伊勢町	棚橋竈区
名張市	赤目町一ノ井区	伊賀市	勝地区	南伊勢町	船越区
名張市	上小波田区	伊賀市	上阿波区		
名張市	上比奈知区	伊賀市	川北区		

### 共同募金運動篤志寄付者・団体(感謝) 共同募金に多額の篤志寄付をされた個人及び団体

市町名	氏名/団体名	市町名	氏名/団体名
津市	田中 宏明	名張市	株式会社 ベルウイング
四日市市	矢田 久子	名張市	株式会社 ヤマタケ
四日市市	石井燃商 株式会社	名張市	名張市仏教会
四日市市	株式会社 植田商店	志摩市	有限会社 中原自動車整備工場
四日市市	四日市学生吹奏楽連盟	伊賀市	松崎 壽和子
伊勢市	株式会社 ダイム	伊賀市	山川 公郎
松阪市	クラギ 株式会社	伊賀市	山川 喜美子
松阪市	社会福祉法人 まつさか福祉会 お菓子工房 M	伊賀市	伊賀ふるさと農業協同組合
松阪市	東海労務経営管理センター	伊賀市	株式会社 堀川商店
桑名市	松田 泰子	度会町	大西 久司
鈴鹿市	宮古島 株式会社	御浜町	林 和男
名張市	株式会社 ネクスト・ワン	紀宝町	有限会社 日本商事
名張市	株式会社 ネクストワンサポート	名古屋市	社会福祉法人 中日新聞社会事業団

(注) 篤志寄付者 137名(個人 100名・法人等 37団体)の内、感謝状受領及び氏名の掲載についてご同意いただいた個人・団体のみ掲載しています。

### 共同募金運動特別協力功労者(感謝) 共同募金運動の推進に特に顕著な功績があった団体

市町名	氏名/団体名	市町名	氏名/団体名
松阪市	松阪市老人クラブ連合会	紀北町	紀北町立赤羽中学校
紀北町	紀北町立赤羽小学校		

### 三重の赤い羽根共同募金バッジデザイン表彰

赤い羽根共同募金、三重県をイメージした優れた作品をデザインされた方

	氏名	学校名
三重の赤い羽根賞	大西 真央	私立暁高等学校
三重県知事賞	西山 ケン	私立大橋学園高等学校
三重県議会議長賞	松田 明咲	私立暁高等学校
三重県教育委員会賞	桂川 愛矢	私立暁高等学校
三重県社会福祉協議会長賞	齋藤 遼佳	私立暁高等学校
努力賞	青木 南穂	松阪市立飯南中学校
	伊藤 優梨菜	松阪市立中部中学校
	加藤 涼	鈴鹿市立大木中学校
	平松 新菜	三重県立あけぼの学園高等学校
	北村 遥香	三重県立木本高等学校



講演

# 渋沢栄一に学ぶ福祉のこころ



今年7月3日、約20年ぶりに新紙幣が発行されました。一万円札の肖像となったのは、渋沢栄一氏。江戸末期に農家の長男として誕生し、のちに徳川将軍家の要人として活躍。明治から大正、昭和初期にかけては、実業家としての手腕を発揮した人物として知られています。彼が関わった企業の数、生涯で約5百社。実は、我が国における福祉事業のパイオニアでもありました。「渋沢栄一史料館」の井上潤顧問に、彼の生き様や福祉への彼の想い、取り組みについて講演いただきました。

## 環境によって育まれた 渋沢栄一形成の原点とは

江戸末期の1840（天方11）年、現在の埼玉県深谷市（当時の武蔵野国・血洗島）に、農家の長男として渋沢栄一が誕生しました。北に利根

川、南に中山道、中瀬河岸や深谷宿があるこのエリアは物資輸送の大動脈、情報も集まる地域経済の要所でした。先進性を帯びた同地の産業は、藍染に使う藍玉の販売が主力。渋沢家は、父がその産業をもって村をマネジメントする立場であり、栄一自身も13歳ごろから、家業を手伝っていました。父の経営に協力すべく、藍の葉の質や量、適切な価格で仕入れられた家を番付表「藍玉力競（くらべ）」を作成して見える化し、競争原理を働かせるアイデアを取り入れ、家の繁栄に貢献しました。また、学問や教養を身につけるため、従兄弟の学者・尾高惇忠の元へ塾に通うように授けられます。あらゆるジャンルの書籍を数多く読む中で、攘夷論を知り、そちらの方向へと傾くこととなります。そのように、子ども時代から経営ノウハウや、情報を見抜く洞察力、思考の柔軟さなど、全方位で培われていったのです。

## 江戸に遊学したからこそ 発展した未知との遭遇

文学や剣術を極めるため江戸へ遊学し、そこで出会った人々と攘夷思想を深めたり、武士が尊ばれる不条理さへの共感を得られたりする中、自分たちでこの世をあらためる手法を試みます。そんな時で出会った平岡田四郎から一橋慶喜（のちの徳川慶喜）の家臣に誘われ、一橋家の財政向上に貢献。将軍となった慶喜の弟・昭武に伴い、パリ万国博覧会使節団の一員を命じられます。海外で

彼は、会社を起こす仕組み、官民が一体となって国を考えることへの必要性を初めて知ることになりました。

## 会社組織を構築し 民間事業の発展を図る

帰国後の1869（明治2）年から4年間、民部省の改正掛として政府の役人を勤めます。職を辞してからは、生涯におき民間事業を買き通しました。皆で出資し、皆で事業を展開することを理想とした渋沢栄一。銀行や保険、陸運に製造業、ホテルにアパレルなど、さまざまに関わり方で5百社もの事業を手掛けました。また、さらなる経済発展につながるよう、異業種同士の意見交換によって世論が形成される場、現在の商工会議所の前身も構築。財界・経済界を上手に組織化しました。しかし、戦争といった時代のいたずらや、経済発展から波及した問題にも向き合うことになりました。

## 老後の三大事業は 平和と福祉、そして教育

経済発展の一方で生まれた生活困窮者への福祉、事業後継者への教育にも、渋沢栄一は配慮を怠りませんでした。彼は「平和・福祉・教育」を、老後の三大事業として位置付けます。平和においては、渡米実業団を立ち上げ、三カ月をかけた米60都市を巡り、ギョウシャクした日米関係の回復に努めました。経済発展の反面、生じてしまった貧民救済については

影の部分に光を注ぎ、教育の分野では、東京高等商業学校（現在の「一橋大学」）を設立し、「国のための人づくり」に貢献。道徳観や個性、現場主義を重視した商業教育や女子教育、初等教育などにも奔走しました。

## 「社会事業は私の義務」 命が尽きる直前まで注力

生活困窮者を救済すべく、1908（明治41）年に「中央慈善協会」が誕生し、初代会長に就任。大正時代には救貧から防貧への考え方に発展し、現在の民生委員のさきがけ的存在も誕生しました。フランスで見た、ハンディーのある人の居場所となる環境づくりを理想とし、晩年まで「救護法」の整備や実現に注力した渋沢栄一。「社会事業はなんせ私の義務である」と、命が尽きる直前まで福祉にこだわり続けました。彼が死去した1931（昭和6）年の翌年に「救護法」が実施され、弱者を保護する法律は、今も息づいています。

### 講師 Profile

井上 潤 氏



渋沢栄一記念財団 渋沢史料館  
1984年に明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻を卒業後、渋沢史料館の学芸員となる。部長、副館長を経て2004年には館長を就任。2010年には財団事業部長、2020年には業務執行理事、2022年には渋沢史料館顧問となり現在に至る。NHK大河ドラマ「青天を衝け」では時代考証家を担当。今年発行された新札では、一万円の顔となった渋沢栄一の肖像画を同館から提供した。



## 大会宣言

昨今、少子高齢化・人口減少社会の進展、コロナ禍、経済の悪化や物価高騰等に伴う生活困窮世帯の増加、社会的孤立、ひきこもり、8050問題など、様々な厳しい問題が生じています。

加えて、近年、自然災害が頻発化・激甚化しており、本年1月には能登半島地震の発生、重ねて9月には能登地域が豪雨災害にみまわれました。また、私たちの住む地域でも、8月には南海トラフ地震臨時情報が発表され、緊迫が走ったところでした。

このような社会にあって、様々な福祉の課題に、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えて「丸ごと」つながることによって、住民一人ひとりの暮らしと生きがいを充実させ、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現が益々重要になってきています。併せて、迫る自然災害に対する「備え」を一層強化していく必要があります。

本日、ここに第72回三重県社会福祉大会を開催するにあたり、私たち社会福祉関係者は、あらためて人びとの福祉ニーズや地域の生活課題に対して真摯に向き合い、「地域共生社会」の実現を図っていくこと、そして、ともに協力し合い、災害に負けない地域社会を作っていくことを固く誓い、ここに宣言します。

令和6年10月29日 第72回三重県社会福祉大会



香良洲地区  
民生委員児童委員協議会  
副会長 **南出 正成** さん (津市)

### 三重県社会福祉協議会会長表彰 民生委員・児童委員功労者

#### 支えているし逆に支えられている 自然な形で「共助」になっていた

知人より「民生委員になってほしい」とのお話をいただいた時は、51歳と比較的若く、まだ在職中だったこともあり逡巡いたしました。とりあえず任期の3年は最低でも勤めようと考えてお引き受けしました。最初は戸惑いもありましたが、同時期に就いた委員たちや先輩方へ何かとフォローしてもらいつつ続けることができました。また、一人暮らしのお年寄りが、ちょうど私の親世代だったこともあり、実の息子のように接していただいて可愛がってもらいました。今日に至るまでの17年間の活動を通じて感じるの、確かに支えている面もありますが、逆に自分自身も支えられていたということです。民生委員だからといって構えるのではなく、気さくに声を掛けて、掛けてもらえる。お互いに支え合う共助の形を実現できたことが長く勤められた秘訣だと思います。



名張市共同募金委員会  
会長 **古谷 久人** さん (名張市)

### 三重県共同募金会会長表彰 共同募金運動奉仕功労者

#### 地域福祉や市民活動を支えている 募金の使い道に関心を持ってほしい

共同募金の活動自体に関しては、世間ではかなり浸透していると思いますが、その使い道については周知しきれていないし、関心も薄いと言わざるを得ません。市民の皆さんから寄せられた募金が、地域の福祉や市民活動を支えているということをもっと広く知ってもらう必要があります。各自治会が行う戸別募金を中心になっている現状に加えて、お願いされたから慣習的に募金するのではなく、地域や企業を巻き込んで自主的に募金していただく形を広げていきたい。クラウドファンディングなどの例を見てもわかるように、使い道の中身を明示すれば関心を持ってくれる層は着実に増えていると思います。募金の金額が全国的に減り続けている今だからこそ、使い道の周知の仕方や募金の集め方などを見直しつつ、よりよい形にしていかなければならないと感じています。



今年は、中長期計画である「新ウェルビーイングみえプラン」第1期の最終年にあたります。この連載では、7つの推進項目ごとに振り返り、第2期への展望をお示しします。

## 基本目標② 持続可能な社会福祉の仕組みづくり

### 推進項目③ 質の高い福祉サービスに向けた支援

#### 主な事業・取組み

この項目では、質の高い福祉サービスの提供に向けて、福祉サービスの提供者自らが実施すべき事柄に対する取り組みを記載しています。

福祉サービスの提供者は、自らが提供するサービスの質の評価やその他の措置を講じることによって、利用者の立場に立った良質かつ適切な福祉サービスを提供するよう努めなければなりません。

また自らが提供するサービスに対する苦情には適切に対応し、苦情解決までのプロセスを経て、提供するサービスの質を向上させていくことが求められています。

#### 目標の達成度（令和2～5年度を振り返って）

##### ● 社会福祉事業の経営支援の強化

県経営協の事務局を担うことで、制度改正や労務に関することなどの研修を開催し、各法人の経営を支援しています。

##### ● 福祉サービスにかかる苦情解決体制の整備

運営適正化委員会は社会福祉法に基づいて都道府県社会福祉協議会に設置され、苦情相談窓口としての役割と、社会福祉事業所に対する苦情解決体制の整備の必要性について広報・周知・助言に取り組んでいます。

今期を振り返ると、新型コロナウイルス感染症に関連して、これまでに少なかつた事業所の感染症対策や感染者対応に関する対応に関する苦情が新たに見られるようになったことが大きな特徴として挙げることができます。

事業所に対する個別の研修実施という目標に関しては、年間1～2件程度と横ばいだったこともあり周知が必要である一方、事務局体制上物理的な限界もあるため大幅な増加は平常時の苦情相談体制に影響を及ぼすため、バランスを取りながら実施規模を拡大していく必要があります。

##### ● 福祉サービスの評価活動の推進

福祉サービスの質の向上と利用者の適切なサービス選択に資する情報提供を目的として、みえ福祉第三者評価、社会的養護関係施設第三者評価、地域密着型サービス外部評価に取り組んでいます。

みえ福祉第三者評価では8事業所の、社会的養護関係施設第三者評価では7事業所の評価を実施し、それぞれの評価決定委員会において評価決定しました。加えて、調査員の確保にも取り組んでいます。地域密着型サービス外部評価では451事業所の評価を行っています。

#### 今後の展望

##### ● 社会福祉事業の経営支援の強化

質の高い福祉サービスが提供されるよう、経営支援の強化を図ります。

##### ● 福祉サービスにかかる苦情解決体制の整備

これまで数年おき不定期に実施してきた苦情解決体制整備状況調査を令和5年にウェブフォーム化して、事業報告書配布計画に沿って毎年実施※することとしました。調査項目を通じて苦情解決体制に必要なものを啓発するとともに、定期的な調査を継続運営適正化委員会の活動の周知にもつなげたいという考えです。

※県内すべての事業所を4分割し、4年を1サイクルとして調査票を配布します。

##### ● 福祉サービスの評価活動の推進

評価調査員の更なる確保と資質向上に努め、質の高い評価事業を運営していきます。また、事務局体制整備として、評価業務経験者の育成に努めます。

機会をとらえて評価事業の紹介をする等、受審事業所数の増加に努めます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

**保険金額・年間保険料 (1名あたり)** 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償 <sup>(*)</sup>		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは  
こちらから



(ふくしの保険)  
ホームページ

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

## <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行幸用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)



# 三重県共同募金会からのお知らせ

## NHK歳末たすけあい義援金を受け付けています

NHK歳末たすけあい義援金は、新たな年を迎えるにあたって、障がい者、子ども、高齢者等支援が必要な方々に県民の皆様からの寄付金を、共同募金会を通じて助成するものです。

募金は各金融機関やNHK津放送局で受け付けています。

### ● 実施期間

令和6年12月1日(日)～12月25日(水)

### ● 金融機関での受付

各金融機関窓口にて専用の振込用紙を設置します。

### ● NHK津放送局での受付

期 間 令和6年12月2日(月)～12月25日(水) 9時30分～17時

※土・日及び祝日はNHK津放送局が閉館のため、受付を行いません。

場 所 NHK津放送局(津市丸之内養生町4-8)



## 地域課題解決型募金(テーマ型募金)を受け付けます

三重県共同募金会は、令和2年度から地域課題解決型募金(テーマ型募金)の取組みを行っています。テーマ型募金とは、1月～3月の期間拡大期に地域で活動する団体が、その地域が抱える課題を解決するため、団体の活動をアピールすることで、活動に賛同する方から寄付金を募る取組みです。

本年度は、「NPO法人 バンビの会」、「一般社団法人 三重県里親会」、「けいわっこカレー食堂・実行委員会」、「特定非営利活動法人 快生教会」、「父子の会」の5団体が参加します。

来月号では、団体の活動内容について紹介しますので、お楽しみに！

詳しくは本会ホームページ(<https://mie-akaihane.or.jp/expansion.php>)をご覧ください。



発行人 井村 正勝

編集人 横田 浩一・広報委員会

発行所 社会福祉法人 三重県社会福祉協議会

〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131

TEL: 059-227-5145 FAX: 059-227-6618

URL: <https://www.miewel-1.com/> E-mail: [info@miewel.or.jp](mailto:info@miewel.or.jp)

編集協力 株式会社アイリック